

| | |
|--------------|--------------------------|
| たつの市定例記者会見資料 | |
| 発表年月日 | 令和4年3月7日(月) |
| 担当課 | 教育事業部歴史文化財課 龍野歴史文化資料館 |
| 電話 | 0791-63-0907 |

報道機関各位

龍野歴史文化資料館 特別陳列

「脇坂家ゆかりの武具と龍野武者行列」を開催

令和元年度に龍野城下町の一部が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、これまで以上に龍野城下町に注目が集まっています。その城下町の礎を築いたのは、脇坂家の200年に及ぶ安定した治世であり、2022年で、脇坂家が寛文12(1672)年に龍野へ入封してから350年を迎えます。この節目の年に年間を通して関連展示・関連行事を展開します。第1弾の関連展示として、脇坂家ゆかりの武具に加えて、龍野武者行列(初代の脇坂安治をまつる龍野神社の春の例祭から始まったとされる)を写真で紹介します。

記

- 1 期 間 4月2日(土)～5月22日(日)
9時～17時(入館は16時30分まで)
【休館日】毎週月曜日、5月6日・10日・11日
- 2 展示概要 (1)脇坂家ゆかりの甲冑
注目! 初めての里帰り展示
てつくるうるしめりはなだいとむねとりきんちやおどしにまいどうわらべぐそく
「鉄黒漆塗縹糸胸取金茶威二枚胴童具足(加古川市指定文化財)」
脇坂家11代脇坂安宅(やすおり)の実子壽之助(ひさのすけ。後の13代安熙(やすあきら))が元服や鎧着初めなどの儀式に用いたと伝わる童具足です。安宅は外様大名にもかかわらず、京都所司代や老中と、幕府の要職を務めた藩主です。
本具足は子どもの儀式用とはいえ、造りは成人用と変わらぬ本格的なもので、兜かぶと・頬当ほほあて・草摺くさずり・佩楯はいたて・毛沓けぐつまで完全に残っているのは珍しく、甲冑資料の中でも重要文化資料とされています。
・縹糸威布袋菖蒲蒔絵仏胴はなだいとおどしほていしょうぶまきえほとけどう たつの市指定文化財(龍野神社奉賛会蔵)
・唐冠形兜とうかんむりなりかぶと たつの市指定文化財(龍野神社奉賛会蔵)
・蜻蛉蒔絵鞍とんぼまきえくら・鏡あぶみ など

(2)龍野武者行列の明治から平成にかけての写真 約20点
- 3 入館料 一般200円、65歳以上・学生100円
※「ひょうごっ子ココロンカード」提示で無料
※「国際博物館の日」(5月18日)にあわせて5月14・15・17・18日は入館料無料

4 関連イベント (1)GoGo ミュージアム

日 時：5月5日(木・祝) 10時～15時

内 容：家紋入り缶バッジづくり

参加費：無料(入館料は必要)

参加方法：当日に随時受け付け

(2)ミュージアムトーク

日 時：5月15日(日)

10時30分～12時、14時～15時30分

講 師：岡田 平三氏

(日本甲冑武具研究保存会近畿支部評議員)

定 員：各回20名

参加費：無料(入館料も無料)

参加方法：事前に窓口又は電話で申し込み

5 協 力 龍野神社奉賛会、龍野文化伝承会



鉄黒漆塗縹糸胸取金茶威二枚胴童具足(加古川市指定文化財)